

# はにい

## はじめての道徳

平成26年6月9日



「はい、みなさん、せなかぴん、あしうらべた、おなかぐー」  
1年生の教室には、姿勢の正し方や鉛筆の持ち方などが掲示されています。

「〇〇さん、いい姿勢ですねえ。はい、それでは、道徳の時間を始めます」

今年度から全国の小中学校に配付された『わたしたちの道徳』が子どもたちに手渡されました。

「最初のページをキューって引っ張って、手でアイロン」  
小さな手で“アイロン”します。

「さあ、あおーいお空が広がってるねえ。下には、緑の草原が広がっています。気持ちいいよねえ」

みんな開いたページを見ている。

「道徳の時間はね、青い空とか、黄緑の芝生とか、こんな風に、みんなが気持ちよくいられたらいいなあって思いながら、みんな毎日のことを考えます。」



「42ページを開いてください。ここには『してはならないことがあるよ』って書いてあります。男の子が2人、廊下にいますよ。何してるんだろね？」

「友だちをたたいてる！」

「ほんとだねー」

「頭をたたいてる！」

「ほんとだ。みんな、だれかをたたいたことある？」

「たたいてないよ！おれ！」

「みんな、頭をたたかれたらどう？」

「いたーい！」「いたい！」

「痛い方がいいですか？」

「やだ！」「いや！」

「いたいのやだからね、たたいたり、やめようね。ここには『友だちをたたいてはいけません』って書いてあります」

目を大きく見開いた子が、小さく何度もうなづいています。



『はにい』は、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合きましょう。

ご意見・ご感想は → [inochi4027@pref.kanagawa.jp](mailto:inochi4027@pref.kanagawa.jp)